

桑名広域清掃事業組合資源循環センター ごみ処理施設整備運営事業

第8回管理運営協議会(令和6年11月)

桑名広域清掃事業組合資源循環センター管理運営協議会設置要綱第4条2項により、協会会議長と協議の上、第8回管理運営協議会を书面開催としました。下記委員に令和6年度上半期ごみ処理施設整備運営事業に関する報告資料を配布し、いただいたご意見ご質問への回答を再度確認いただくことで、第8回管理運営協議会の開催とさせていただきます。

・資料配布委員

議長	名古屋大学教授	成瀬 一郎
1号委員	三重大学名誉教授	加藤 忠哉
2号委員	桑名市力尾自治会	蛭川 克児
	桑名市嘉例川自治会	伊藤 一雄
	東員町穴太自治会	大野 晋次
	東員町城山一丁目自治会	古賀 一孝
	東員町城山二丁目自治会	坪内 博美
	東員町城山三丁目自治会	平山 茂司
3号委員	桑名市環境対策課長	伊藤 勝史
	東員町みらい環境課長	中村 徹也
	木曽岬町住民課長	伊藤 正典

【委員からのご意見に対する回答】

	ご意見	回答
1.ごみ搬入量	輪島市他の災害廃棄物受入が始まりましたが、非常にいいことだと思います。可能な限り続けて処理して下さい。	拝承しました。
	9月～ 能登半島地震災害廃棄物の受入れはいつ迄の予定ですか。出来る限り支援継続となるよう期待しています。	令和8年3月末迄の予定です。
	桑名市、木曽岬町、東員町のごみ搬入量が減少が継続している。住民の方の努力成果だと思います。自治会として住民の方へ状況を説明していきます。	よろしくお願いします。
	ごみ搬入量について各市町とも減少傾向で今後とも一層の減少意識が浸透出来る様に各市町の担当課で展開する様に期待します。	拝承しました。

	ごみの搬入量の減少傾向は継続しているのに、前年度からの貯留分を含めると微増しているのは能登半島災害廃棄物の受入のためですか。 資料1の可燃ごみ9月は他月と比べても微増というより変化がないように見受けられます。 資料2においても同じです。	ごみ処理量の微増については調整範囲内であり問題ありません。また、上期において能登半島災害廃棄物の受け入れに対する影響は出ておりませんので、今後の動向に注視してまいります。
2.運転維持管理状況	可燃ごみ焼却による発電量の売却実績額はどのように推移していますか。計画通りですか。	運営期間20年で232,892MW(11,644.6MW/年)の売電量を提案しており、運営開始4年間の実績では平均14,577MW/年になります。また、今年度においても売電量は計画値を上回る予定であります。
	運転管理、環境管理は計画通りまた管理値の維持を今後も継続をお願いします。	拝承しました。
3.環境管理状況	放流水水質分析で敷地中央ではアルカリ性、敷地南側では中性～酸性(ph値)いずれも基準値内なので問題ないですが、何が原因ですか。	敷地中央部は調整池からの放流水となりますので、調整池の植物プランクトンや藻が光合成をすることによって水中の二酸化炭素が減少しPHが高くなる可能性の一つとして考えられます。
4.啓発業務実施状況	啓発活動については、今年度の計画内容に対する成果を考慮し来年度計画を立案、実施してもらえようをお願いします。	拝承しました。
5.発火事例発生状況	発火発生状況を見ると、リチウムイオン電池、カセットボンベ、ライター、マッチが原因とありますが、何か対策はないですか。	◎可燃焼却施設 大部分の廃棄物は搬入車から直接ピットへ投入されるため 事前に火災原因となる物を排除する事は難しい状況です。 発火がある事を想定し、ピットに火災検知器を設置しており、異常があった場合は直ちに散水するシステムになっています。 ◎リサイクルプラザ 搬入された廃棄物は全て事前に展開検査を実施しています。火災の原因となる物を排除していますが、多数混在しており全てを排除する事が出来ておりません。 火災の原因となる物を搬入しない事が一番重要だと考えていますので、ごみ搬入時の聞き取り、ホームページや運営ニュース、施設見学時の説明等で火災リスクについての周知を引き続き行っていきます。 また、各委員の方々もご協力をお願いします。

	火災事例について 可燃ごみ、不燃ごみへの混入が原因と 思います。分別に注意しごみ出しするよう自 治会の回覧物等での啓発活動を継続して いきます。	よろしくお願いします。
	発火発生状況においては、さらなる啓発 活動しかないように思われます。	拝承しました。
6.その他	委員の変更について 委員のどなたが変更になったか※がない 為に不明でした。	変更になったのはNo.15川畑様です。 次回から変更になった委員が直ぐに分か るように表記を変更します。